

職域総合部会 個別委員会 女性獣医師活躍推進委員会報告の概要

- 1 検討テーマ：女性獣医師の活躍推進のための対策について
- 2 検討の経過：委員会の開催4回（令和3年10月15日・令和4年5月17日・10月14日・令和5年5月18日、ほかメール等による意見交換多数回）

3 報告の概要：

女性獣医師支援特別委員会（平成25～26年度）が「女性獣医師が活躍しやすい環境はすべての獣医師が活躍しやすい環境である」をコンセプトに提案した対策、女性獣医師支援対策検討委員会（平成27～28年度/平成29～30年度）がそれぞれ新たに提案した対策、及び女性獣医師活躍推進委員会（令和元～2年度）の具体的な提案について、改善を加えながら取組みを進め、進捗状況や残された課題、目標の達成状況等を検討・整理し、各関係機関等への提言を取りまとめた。

（1）女性獣医師の活躍推進のための理解醸成

農水省補助事業「獣医療提供体制整備推進総合対策事業」により、シンポジウム「新型コロナウイルス感染症・動物の感染症と獣医師－獣医師の職場からの報告と獣医師全体のメンタルヘルスのために－」（日本獣医師会獣医学術学会年次大会オンデマンド配信）、「獣医師の就業環境の未来を考える～すべての獣医師が働きやすい職場づくりに向けた取組み～」（オンデマンド配信）、獣医学系大学において「男女ともに獣医師として活躍を続けるためのセミナー」を開催し、動画を女性獣医師応援ポータルサイト（以下、「サイト」という。）に掲載した。開催の方法や内容等に工夫を加えつつ継続することが重要である。

（2）仕事を続けやすい・復職しやすい環境づくり

ライフステージに応じた短時間勤務、ワークシェアリング等の勤務形態の多様化を実現するために必要な、情報交換しやすい環境づくりを進めるため、積極的に取り組んでいる地方獣医師会の事例をサイトで紹介した。日本獣医師会HPの求人情報については、ライフステージに合わせた就業先の検索ができるよう見直し、ホームページのリニューアルにあわせて公開する。

（３）情報プラットフォーム（女性獣医師応援ポータルサイト）の充実

サイトにおけるeラーニングコンテンツ等の充実を図るとともに、関係団体や大学とのリンクを進めた。会員・非会員を問わずに閲覧できる重要なプラットフォームとして、今後も一層の活用促進を図りたい。

（４）獣医学系大学の女性教員数等の調査

「獣医師教員数・学生数に関する調査」及び「男女共同参画による取組み」の調査を行って取りまとめ、サイトに公開した。全体的に女性教員が増加しており、各大学における取組みが進んでいることが伺えた。

（５）目標の設定等

① 2020年目標と2030年目標

「女性役員がいない地方獣医師会は1名を、いる地方獣医師会は複数名にすることを、2020年頃を目途にめざす（2020年目標）」とし、さらに「2030年までに、獣医師会の女性役員を30%以上に、女性の獣医師会加入率を男性と同じにすることをめざす（2030年目標）」としているが、2020年目標が未だ達成できていない。2030年目標は、女性役員割合は8.7%、加入率の男女差は変わらず、取組みの一層の強化が必要である。

② 日獣ロゴ等の活用

獣医師としての社会的使命の自覚や誇りを共有し、加入促進にも繋がるよう、日獣ロゴの名刺等への印刷とバッジの着用を推奨してきた。引き続き、具体策を改善しつつ取組みを推進することが望まれる。

③ 地方獣医師会の定期アンケート

「女性獣医師活躍推進のための取組状況の調査」を引き続き実施し、結果の概要を公表した。今後も定期調査として継続し、調査依頼の仕方、結果の公表やフィードバックの方法を改善し、取組みの加速化につなげる必要がある。

（６）新しい取組み（より積極的な情報発信）

日本獣医師会雑誌に委員等による関連記事の連載を開始するとともに、委員の出身大学の同窓会誌等に関連記事を投稿することについて取組みが開始された。

（７）今後の対策の推進のために

残された課題の解決と、新たな実態調査の結果を踏まえた対策の推進のための取組みを継続する。